

令和5年度 埼玉県NPO基金助成事業の紹介

NPO基金を活用し、令和5年度は合計21のNPO法人に助成しました。

SDGs推進事業

NPOならではの視点を持ちながらSDGsを推進し、地域課題の解決に取り組む活動に対して助成

法人名	採択事業名(応援名称)
特定非営利活動法人 スコップ	[keep step] キミと一緒に育つ場所 「学校に行かなくてもみんなで給食が食べられる」事業
特定非営利活動法人 Special Discovery Supporters	子どもが安心して学べる地域ネットワークづくり事業 ～“地域が校庭”を合言葉にした地域づくり活動～
特定非営利活動法人 リンク リライアンス	障がい者の「やりがい・働きたい・生きがい」支援事業 (応援:埼玉県浦和競馬組合 社会貢献活動)
特定非営利活動法人 マナビダネ	不登校の子どものための学びの土台をつくる居場所事業
特定非営利活動法人 はばたきソーシャルワークス	障害のある方の「親なきあと」のためのエンディングノート事業
特定非営利活動法人 わこうフードネットワーク	フリースクール事業
特定非営利活動法人 みさと	赤ちゃんもいっしょにクラシックコンサート事業
特定非営利活動法人 空き家対策協会	空き家問題を解決に導く大相談会の実施事業 (応援:一般財団法人さいたま住宅検査センター 住まい・まちづくり支援寄附)
NPO法人 子ども地域ネットワーク所沢	所沢SecretBase事業
特定非営利活動法人 奥武蔵ピースラボ	日高市並びにその周辺の里川・里山の環境保全事業 (応援:金紋世界鷹 みどりと川の再生支援寄附)
特定非営利活動法人 フードバンクいるま	地域のつながりをつくるフードパントリー事業 (応援:株式会社富士薬品)
特定非営利活動法人 アグリドッグレスキュー	動物愛護センターに収容された犬を保護・一時飼養し、終生飼養家庭につなげる 保護犬譲渡会および啓もう活動事業 (応援:埼玉県浦和競馬組合 社会貢献活動)
特定非営利活動法人 オハナプロジェクト	産前産後の親子の健全育成事業
特定非営利活動法人 アシストさいたま	すべての子供を笑顔に!地域で学習支援事業 (子供たちが親の収入に左右されず学習する機会を提供)
特定非営利活動法人 こどもエコクラブ飯能W	すべての子どもと母親に地域で居場所づくり事業 (応援:JSA中核会埼玉ブロック)
特定非営利活動法人 スポーツコミュニティ久喜	休日中学部活動の地域クラブ化事業 (応援:埼玉織物工業協同組合)
特定非営利活動法人 みんなで元気	わこう銀色プロジェクト事業 (応援:埼玉織物工業協同組合)

自立促進事業

SDGs推進事業のうち、事業収入による運営へ再構築することで体制強化を図る新たな活動に対して助成

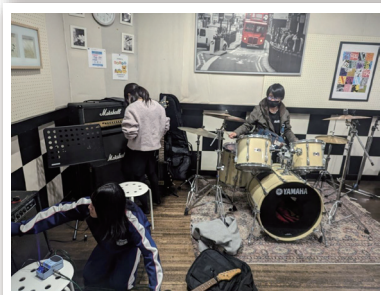
法人名	採択事業名(応援名称)
特定非営利活動法人 たねの会	誰一人取り残されない学びの保障にむけた地域づくり事業
特定非営利活動法人 テソロス・デ・ディオス	障害者に対する週末支援事業
特定非営利活動法人 春日部地域資源振興会	春日部地域資源と高齢者をつなぐ自立事業 (応援:株式会社富士薬品)
特定非営利活動法人 北本市観光協会	きたもと森林セラピー体験・シンポジウム事業 (応援:金紋世界鷹 みどりと川の再生支援寄附)

※「応援」とは、一定額以上の寄附をした個人・団体が企業名・プロジェクト名等を明示しNPO活動を応援するものです。

SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ **【keep step】キミと一緒に育つ場所
「学校に行かなくてもみんなで給食が食べられる」事業**

法人名 ▶ **特定非営利活動法人スコップ**



活動内容

NPOスコップは、医療・福祉専門職による社会貢献活動団体です。企業協賛型の子ども食堂の運営、不登校など生きづらさを感じているお子さんに対する支援として、①居場所作り、②学習支援教室に取り組んでいます。

事業取組

不登校になると、日中、一人で家の中で過ごすようになり、昼食を食べなくなる、食べたいと思わなくなる傾向があります。当事業は、「昼食」の提供を中心としながら、引きこもりがちな子どもたちが、自宅外へ出るきっかけ作り、対人交流機会の提供を目的とした事業です。

具体的な支援は、①LINEによる連絡相談、②昼食と居場所の提供、③送迎サービス、④家族支援、です。

事業成果

引きこもり傾向のあるお子さん9名のうち、8名が定期的な外出と対人交流機会を回復することができました。今後は、居場所ではなく、「学習」に力を入れた新規プロジェクトの創設に取り組んでいく予定です。

総事業費 490,722 円

助成額 489,000 円

SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ **【子どもが安心して学べる地域ネットワークづくり事業
～“地域が校庭”を合言葉にした地域づくり活動～**

法人名 ▶ **特定非営利活動法人Special Discovery Supporters**



活動内容

当法人は、「安心して学べる地域社会をつくる」ことをミッションとして、2022年6月に設立しました。医療-教育-地域が協働し、学びを創造できる社会をつくれる仕組みを作っていきたいと思えます。

事業取組

本事業では、①フリースクール運営事業（居場所づくり事業／学習支援事業）、②不登校及び起立性調節障害等、生徒個々が抱える心身の状況に応じた対応に関する研修・講演事業を実施しました。

フリースクール事業では、様々な生き方をする大人が講師となり、「生き方講座」を実施しました。研修・講演事業では、養老孟司氏、文部科学省にお越しいただき講演会を実施しました。

事業成果

来年度以降は、以下の点に注力しつつ事業を継続及び発展させていく予定です。

- ①フリースクールHIROの事業継続
- ②生き方講座の継続開催
- ③社会福祉協議会等と連携し学びのフィールドを拡大

総事業費 1,650,070 円

助成額 500,000 円

SDGs推進事業・人間分野

応援：埼玉県浦和競馬組合 社会貢献活動

事業名 ▶ 障がい者の『やりがい・働きがい・生きがい』支援事業

法人名 ▶ 特定非営利活動法人リンク リライアンス



活動内容

障がい者の工賃が著しく低い実態を改善するため、日本の伝統文化のひとつである「折り紙」製品の製作・販売を通じて障がい者の仕事を拡充、障がい者の『やりがい・働きがい・生きがい』づくりを支援しています。

事業取組

昨年導入したカプセルトイのガチャ販売機をさらに拡充することで
①地域イベント、催事ブースへのガチャ販売機設置で関心を喚起。地域での事業の認知向上と販売機会拡大を図りました。
②集客力のある場所へのガチャ販売機設置でマンパワーに頼らない販売体制を強化しました。(浅草、浦和競馬場)
③上記①、②により障がい者日型事業所への依頼業務を拡大。その他、ホームページの充実、ネット通販の体制準備も図りました。

事業成果

ガチャ販売機の導入、拡大によって新たな販売機会の開拓は図れたが、今後はさらに地域での認知浸透、協働の推進による拡販と埼玉県内に限らず多くの外国人が集まる施設、場所へのガチャ設置のアプローチを図りたいです。

総事業費

814,664 円

助成額

499,000 円

SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ 不登校の子どものための学びの土台をつくる居場所事業

法人名 ▶ 特定非営利活動法人マナビダネ



活動内容

不登校の子どもを育てる保護者たちが設立した団体です。
体験や遊びから学びを育むことを意図した居場所事業、ゲーム交流会、学習支援活動の他、保護者サポートのための事業および支援者向け勉強会等を行っています。

事業取組

心理的な安全を感じられる場所で、『体験から学ぶ・人との関わりから学ぶ・自発的に学ぶ』を柱にした、主体的な学びにつながる体験作りをめざした居場所活動を週2回行いました。
子どもの創造力が広がるように、月ごとのテーマに沿ったきっかけ遊びを用意しました。自分らしさが保障された中で、各種体験をしたり、遊んだり、交流したりすることから、自発的な興味や関心を育んだり、人との関わり方を学ぶための場作りをしました。

事業成果

子どもの笑顔が増えていくこと、これが一番の成果だと思います。
子どもに安心して通える場ができると、親子ともに社会とのつながりが広がるようです。幸せが感じられる「学びのための居場所」を今後もめざします。

総事業費

922,411 円

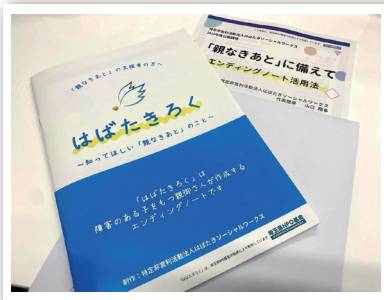
助成額

251,000 円

SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ 障害のある方の「親なきあと」のためのエンディングノート事業

法人名 ▶ 特定非営利活動法人はばたきソーシャルワークス



活動内容

障害のある方の「親なきあと」の相談窓口として、社会福祉士を中心に活動しております。「親なきあと」に関する相談事業の他、成年後見や財産承継（遺言・相続）に関する相談・支援、普及啓発事業を行っております。

事業取組

障害のある子をもつ親御さんが作成するためのエンディングノート『はばたきるく』を制作し、埼玉県内4カ所で開催しました。研修は、エンディングノート活用法に関するもので、「親なきあと」に向けて必要な準備や考えておくべきことなどをまとめた内容としました。さいたま市、熊谷市、越谷市、川越市で開催した本研修は、障害のある方とご家族・支援者の方など、あわせて140名の方に参加いただくことができました。

事業成果

埼玉県内の各地域で「親なきあと」について多くの方に考えていただくきっかけを創ることができました。今後、各地域で、この課題に対して相談できるような既存の社会資源との連携を図っていきたくと考えています。

総事業費 481,055 円

助成額 467,000 円

SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ フリースクール事業

法人名 ▶ 特定非営利活動法人わこうフードネットワーク



活動内容

私たちは、埼玉県和光市で活動するNPO法人です。誰もがいきいきと輝き、安心して気兼ねなく過ごせる「居場所」を増やしていくことを目指し、子ども食堂支援、フリースクール運営、シェアマーケット（フードパントリー）を行っています。また、食に関するSDGsを推進します。

事業取組

原則毎週月曜日に、総合社会福祉会館ゆめあい和光3階和室にて、フリースクールを開催しました。主な内容は、カードゲームやとりとめのないお喋りで子ども達と交流を深めたり、クッキングや公園散策、映画鑑賞学習会など多岐にわたります。主に小学校高学年から中学生の利用がありました。保護者の居場所という意味合いもありましたので、保護者が来所した際は面談やお話会なども開催しました。また、不登校経験者や実践心理学者の先生をお招きしてのワークショップや講演会も開催しました。

事業成果

フリースクールを開催し続けることにより、2名の児童が継続して利用しています。まずは超少数人数制の安心安全な居場所ということで2024年も開催し続けたいと思っています。また、2024年3月から、和光市内の和光教会でも月に1回の開催ができることになりました。

総事業費 370,034 円

助成額 284,000 円